

長崎市第四次総合計画・第3次長崎市教育振興基本計画

重点努力事項

児童が安心して学べる、保護者が安心して通わせられる学校・学級づくりをとおして、信頼される学校づくりに全職員一致団結して取り組む。

本校の教育目標

四気満ちて笑顔の花咲く学校

めざす児童像

- やる気：自ら進んで勉強する子
- こん気：粘り強く努力する子
- げん気：元気に運動する子
- ゆう気：優しく思いやりのある子

教師の指導力向上

- 児童の思考力、判断力、表現力を伸ばすための授業改善
- 「あじさいスタンダード」の活用
- ◎校内研究の充実

「確かな学力を身につけた子どもの育成」～新学習指導要領のねらいを踏まえた指導の在り方を目指して～児童が自ら考え、互いの考えを語り合う場の創造
今、求められている「何が出来るようになるか」を明確にするために、新学習指導要領の目標を押さえた指導法の研究

学力向上の方針と指導の重点

- ①学力向上プランに具体的な達成目標を設定することで、指導に対する目的意識を強め、日常の授業実践を充実させる。
- ②校内研修（道徳）を充実させ、道徳の時間に培った力を他教科においても補充・深化・統合させることをめざす。
- ③授業における指導内容を明確にし、問題解決的な活動やアクティブラーニングの在り方を工夫することで、学力の習得・活用を図る。
- ④「自主的学習」や「家庭学習」を奨励し、朝や放課後等の学習時間の自主的・計画的な活用と充実を図る。

1. 創造的な授業の日常化

重点取組事項
「書く力」の育成

わかる授業の工夫

- ①本時の「めあて」を明確に示し、学習の到達点を認識させ、それに対応したしっかりとした「まとめ」を行う。
- ②問題解決的な学習を通じた、自主的・自発的な学習形態の工夫
- ③自分の思いや考えを伝え合う場の設定とその工夫
- ④「書く」「話す」時間の保証
- ⑤机間指導による学習状況の把握と個別指導の充実
- ⑥ ICT 機器の活用による楽しくわかる授業の創造
- ⑦まなびの跡が残るノート指導

授業を支える基本的な生活習慣や心の育成

- ①生活リズムノート
毎学期始めの2週間、生活リズムノートを記録し基本的な生活習慣の育成を図る。
- ②道徳の時間を中心とした「心の教育」の充実

本校児童の実態(学力調査の結果から)

	国語	算数
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○書く事柄や順序を考えて書く ○片仮名・漢字の読み書き、筆順 ▲話題に沿って話し合うこと ▲言葉の意味やまとまり 	<ul style="list-style-type: none"> ○たし算とひき算 ○表とグラフ ▲正方形、長方形、直角三角形 ▲はこの形
4年	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて構成を考えて書く ○漢字の構成、読み書き ▲辞書の活用 ▲話題に沿って話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○時刻や時間 ○二等辺三角形、正三角形、円 ▲分数の計算や表し方 ▲4位数のたし算とひきざんの計算や加法の性質
5年	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の読み書き ○話すこと・聞くこと ▲物語の登場人物の状況の変化 ▲ローマ字を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算 ○複合図形の面積 ▲平行な直線、円の直径、直方体の展開図 ▲小数と分数
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じた必要な情報の選択と文章内容的確な理解 ○伝えたいことを筋道を立てて話す ▲内容の中心を明確にして、詳しく書く ▲意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べ、考えをまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○円周率や小数の除法 ○数量関係を数直線に表す ▲グラフと資料を関連づけ、変化の特徴を読み取る ▲示された情報を解釈し、条件にあう答えを求める
	理科	
	<ul style="list-style-type: none"> ○体のつくりや流れる水の働きに関する科学的な用語や概念の理解 ○食塩水に関して、溶かしたものと全体の重さの関係や蒸発させたときの現象についての理解 ▲回路を流れる電流の向きと大きさや太陽と光電池の関係についての理解 ▲調べた結果や実験結果の考察の記述 	

▲を今年度の指導における重点目標とする。
また、昨年度に引き続き、「漢字を正しく書く」を重点課題に位置づけ、全校で漢字学習に力を入れて取り組む。

【達成目標】
重点目標の内容の習熟度は70%、該当学年の漢字の書き取り習熟度は90%以上を目指す。
(学年末までに県からの検証問題やアシストシート等を活用し検証を行う。)

2. 内容の定着・習熟の日常化

基礎・基本の徹底

- ①まなびのタイム（基礎基本の時間 朝：週2回）の活用による基礎基本の学力の定着
- ③10分間読書（朝：週2回）
- ④家庭学習の習慣化（毎日：音読・漢字・計算）
- ⑤日常的な漢字の小テスト 定期的な検証テストの実施

苦手分野の克服

- ①学力検査の分析・考察を生かした対策・具体的な手立ての策定
- ②まなびのタイムを活用した個別指導（放課後：週2回）
- ③家庭学習での自主学習の奨励
- ④学習プリント集「ゆめあこ」を活用した学習
- ⑤漢字テスト（しきかん）の実施